

テーマの設定理由

施設の屋上の菜園に毎年夏野菜や花を育て、収穫した野菜でクッキング活動を行ない、生き物を育てる楽しさを子どもたちが味わえるようにした。屋上に菜園があることで乳児期から様子を見たり、幼児が育てる姿を見ることで憧れを抱き近くで観察したり野菜の名前を言う児の姿もあった。また幼児は育てるうえで図鑑で調べる様子もあったので、各年齢に合った活動として実際に食べ物に触れることで食べ物への関心が高まることをねらいとした。

みんなの菜園で野菜
を育てよう！



子どもたちで裸足や手で土を耕しました。手が汚れることを嫌がり土に抵抗を示す児もいたが、年上児が取り組む姿を見ることにより抵抗が薄れていました。保育園でも砂遊びや感触遊びを通して子どもたちが安全に身近なものに触れる機会をつくるのが大切だと感じました。



暑
い
か
ら
た
く
さ
ん
飲
ん
で
ね

子どもたちでどんな野菜を育てたいか決め苗を植えました。種や苗の色を見て「青のにんじんができるのかな？」「白いなすができるかな？」と想像を膨らませながら植えていました。子どもの言葉やイメージはおもしろかったです。係で水やりをし成長する様子を観察しながら自分の役割に責任をもっていました。

大事に育てたにんじんを収穫しました。野菜の色や形の違いを比べたり「どんな味がするのかな？」と実際に食べることを楽しみにしていました。野菜が苦手な児も自分で育てたものは特別に感じ自ら食べていました。



年長児はにんじんの茎を水に付け茎が伸びる様子を観察していました。図鑑を使いにんじんの構造について調べる児もいて調べる楽しさを感じていました。

保育園でみかん狩り体験

屋上にみかんの木をたくさん並べ、全クラスでみかん狩りをしました。子どもたちは、たくさんのみかんの木に驚いていました。乳児クラスは小さな手で上手にみかんを握り引っ張り取れると「みかん取れた～！」と嬉しそうでした。幼児クラスはみかんの話を聞いてからの収穫体験だった為「このみかんは少し緑だからすっぱいかな？」「これがおいしそうだよ！」と友だちと会話を楽しみながら収穫をしていました。収穫したみかんは給食で食べたり、お土産で家に持ち帰りました。「自分でみかん取ったんだよ！」と嬉しそうに保護者に伝えている姿が印象的でした。自分で収穫したみかんは特別で「またみかん狩りしたい！」と子どもたちの声がたくさんありました。



みかんシロップ作り

収穫したみかんでシロップを作りました。0歳児クラスがみかんを洗い幼児クラスが一つずつ皮をむき包丁で切りました。切ったみかんを氷砂糖と混ぜどんなシロップが出来るか楽しみにしていました。「みかんと砂糖をちゃんと並べないと美味しくならないよね」と子どもたちで気付きながら真剣に取り組んでいました。シロップ作りは大成功！水で薄めてみかんジュースを堪能しました。みかんの皮を干して活用しました。一つの食材で色々な食べ方や使い方がある事を知り、子どもたちは他の食材でも色々な発見に関心をもっていました。



芋ほり体験

3～5歳児で三鷹オーガニック農園で芋ほりに行きました。菜園活動から土に触れることへの抵抗も少なくなり芋がどこにあるのか掘りながら一生懸命に探していました。皮と中身の色の違いや上手く抜くための工夫など体験を通して子どもたちの情緒も成長するのだと感じました。普段はスーパーに並んでいる野菜を見ているので土から抜き泥まみれの野菜を見ると「食べられるの？」言う児もいましたが、本来の野菜の姿を確認する機会があり良い体験となりました。

